平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

, 平成30年7月13日

上場会社名 株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス 上場取引所 東コード番号 3387 URL http://www.createrestaurants.com

コ 一 ド 番 号 3387 URL http://www.createrestaurants.com t 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 晴彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 川井 潤 (TEL) 03 (5488) 8001

四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績(平成30年3月1日~平成30年5月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

)

	売上高		営業利	益	経常利	益	親会社株主 する四半期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	30, 689	2. 4	1, 709	△14.1	1, 933	△8.6	761	△16.6
30年2月期第1四半期	29, 960	5.0	1, 990	13. 1	2, 114	11.8	914	5.4
(注) 与任刊 # 21年 0 日期	1954 m 业 #B	000		00/\ 204	エの日告答 1 「	m 业 #n	1 226年七四	/ 26 10

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 890百万円(△27.9%) 30年2月期第1四半期 1,236百万円(26.1%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年 2 月期第 1 四半期	8. 07	8. 06
30年2月期第1四半期	9. 68	9. 61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
31年2月期第1四半期 30年2月期	百万円 74, 104 72, 222	百万円 26, 741 26, 548	% 26. 4 28. 0

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 19,585百万円

30年2月期 20,197百万円

2. 配当の状況

	— · HD — · · / / / / / / / / / / / / / / / / /								
Ī			年間配当金						
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
Ī	30年2月期	円 銭 一	円 銭 5.00	円 銭 一	円 銭 5.00	円 銭 10.00			
	31年2月期	_							
	31年2月期(予想)		6. 00	_	6. 00	12.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日~平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収	Z 益	営業利	J益	税引前	利益	当期和		親会社の に帰属す 利	る当期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
通期	125, 000	_	7, 600	_	7, 400	_	5, 100	_	4, 000	_	42. 38

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、平成31年2月期通期連結会計期間より、日本基準に替えて国際財務報告基準 (IFRS) を任意適用いたします。このため、平成31年2月期の連結業績予想は、IFRSに準拠した数値を表示しております。



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年2月期1Q	94, 722, 642株	30年2月期	94, 722, 642株
31年2月期1Q	333, 275株	30年2月期	333, 275株
31年2月期1Q	94, 389, 367株	30年2月期1Q	94, 389, 367株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が続いているものの、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの継続等の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、消費者マインドが緩やかに改善しつつあるものの、物流費の上昇に伴う原材料価格の 高止まりや、長引く人手不足による人件費の上昇等、引き続き厳しい経営環境が続いております。

こうした環境の中、当社グループは、3月に東京ミッドタウン日比谷の地下1階にある「HIBIYA FOOD HALL」の運営を一括受託し、グループ事業会社3社で8店舗出店したほか、商業施設や繁華街・駅前、郊外ロードサイド立地へ和カフェ業態や餃子居酒屋業態等それぞれの専門業態や新しい業態を計画的に出店いたしました。また、当第1四半期連結累計期間より、株式会社クリエイト・ベイサイドの17店舗を新たに連結の対象に加えたほか、業態変更や改装を積極的に行い、グループ全体では23店舗の新規出店、4店舗の撤退を実施した結果、当第1四半期末における業務受託店舗等を含む連結店舗数は899店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は30,689百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益1,709百万円(前年同期比14.1%減)、経常利益1,933百万円(前年同期比8.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益761百万円(前年同期比16.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,533百万円増加し、19,561百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が349百万円増加したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ347百万円増加し、54,542百万円となりました。この主な要因は、のれんが169百万円減少した一方で、有形固定資産が419百万円増加したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,687百万円増加し、47,362百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が3,000百万円減少した一方で、長期借入金が4,451百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ193百万円増加し、26,741百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が289百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通しといたしまして、当社グループは、「グループ連邦経営」の強みである消費者ニーズ等に対する変化対応力をさらに進化させるべく、引き続き新しいコアコンセプトブランドの開発、業態変更や改装の実施による既存事業の収益性の向上に取り組み、事業基盤の強化を図ってまいります。また、M&Aにおきましても、引き続き積極的に検討を行い、更なる企業価値の向上を目指してまいります。

また、当社は、国内外のM&A推進に向けた基盤整備、資本市場における国際的な比較可能性の向上、並びにグループ内の会計基準の統一による経営管理の最適化等を目的として、平成31年2月期の通期業績より国際財務報告基準 (IFRS) を任意適用することとしております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね順調に推移しており、平成31年2月期の通期の業績予想につきましては、平成30年4月25日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12, 685	13, 035
売掛金	2, 614	3, 140
原材料及び貯蔵品	550	535
その他	2, 178	2, 851
流動資産合計	18, 028	19, 561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20, 337	20, 766
その他(純額)	6, 819	6, 811
有形固定資産合計	27, 157	27, 577
無形固定資産		
のれん	13, 166	12, 997
その他	1,710	1,679
無形固定資産合計	14, 877	14, 676
投資その他の資産		
差入保証金	9, 451	9, 611
その他	2, 708	2,677
投資その他の資産合計	12, 159	12, 288
固定資産合計	54, 194	54, 542
資産合計	72, 222	74, 104

(単位:百万円)

		(単位:日万円)
	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2, 641	3, 105
短期借入金	3,000	_
1年内償還予定の社債	510	510
1年内返済予定の長期借入金	5, 118	5, 154
未払金	2, 722	3,071
未払費用	2,001	2, 527
未払法人税等	1,865	_
賞与引当金	620	690
ポイント引当金	266	250
株主優待引当金	364	240
店舗閉鎖損失引当金	22	10
資産除去債務	201	304
その他	1, 355	1,973
流動負債合計	20, 691	17, 838
固定負債		
社債	2,050	2,050
長期借入金	17, 736	22, 188
退職給付に係る負債	635	692
資産除去債務	2, 658	2,710
その他	1,902	1, 883
固定負債合計	24, 983	29, 523
負債合計	45, 674	47, 362
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,012	1,012
資本剰余金	3, 792	2, 962
利益剰余金	14, 947	15, 237
自己株式	△20	△20
株主資本合計	19, 732	19, 191
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	0	$\triangle 0$
為替換算調整勘定	486	415
退職給付に係る調整累計額	△21	△21
その他の包括利益累計額合計	465	394
非支配株主持分	6, 350	7, 155
純資産合計	26, 548	26, 741
負債純資産合計	72, 222	74, 104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	V Maria and the Maria () Francis () Francis ()	(単位:百万円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)
売上高	29, 960	30, 689
売上原価	8, 592	8, 787
売上総利益	21, 367	21, 902
販売費及び一般管理費	19, 376	20, 193
営業利益	1, 990	1,709
営業外収益		
協賛金収入	153	149
その他	45	130
営業外収益合計	198	279
営業外費用		
支払利息	49	42
その他	25	13
営業外費用合計	74	55
経常利益	2, 114	1, 933
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	_	7
消費税等免除益	261	_
その他	<u> </u>	0
特別利益合計	261	7
特別損失		
減損損失	213	62
店舗閉鎖損失引当金繰入額	9	6
その他	25	19
特別損失合計	248	88
税金等調整前四半期純利益	2, 127	1, 852
法人税等	883	889
四半期純利益	1, 243	962
非支配株主に帰属する四半期純利益	329	200
親会社株主に帰属する四半期純利益	914	761

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

		(単位:百万円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)
四半期純利益	1, 243	962
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	0	$\triangle 0$
為替換算調整勘定	$\triangle 7$	$\triangle 70$
退職給付に係る調整額	$\triangle 0$	0
その他の包括利益合計	△7	△71
四半期包括利益	1, 236	890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906	690
非支配株主に係る四半期包括利益	329	200

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期 純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積り実効税率を乗 じて計算しております。